



もがみエコポータル通信

2010.12月号



本通信は、最上総合支庁が毎月発行するお便りです。最上総合支庁1階ロビーに常備しています。
山形県庁ホームページ(最上総合支庁 <http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshi-cho/mogami/314001/eco-portal.html>)からもご覧いただけます。

第2回最上地域議員協議会が開催されました

11月18日(木)、最上総合支庁講堂において、今年度第2回目の最上地域議員協議会が開催され、地元県議会議員から各般にわたる質問がなされ、活発な意見交換が行われました。

(発言順)

伊藤誠之 委員

- 景気・雇用の情勢と長期的な雇用創出に向けた取組みについて
- 米価下落による農家への影響と支援について
- つや姫の今年度の生産実績と来年度の見通しについて
- 農業従事者の高齢化について
- 最上地域の森林資源の活用について

伊藤重成 委員

- 県産木材を使用した住宅の普及促進について
- 最上小国川ダムについて
- 主要道路の冬期間の除雪について
- ひとり親家庭への就業支援について
- 県立新庄病院の時間外救急医療の実情と課題について

坂本貴美雄 副委員長

- 企業誘致に向けた国道47号(新庄石巻道路)の整備促進について
- 管内の製造業の活性化と隣接地域との連携について
- 医師確保対策について

松沢洋一 委員長

- 人が住みやすい環境の整備について
- 子どもと高齢者の感染症予防対策について
- 子宮頸がんワクチン接種の助成について



伊藤誠之 委員



伊藤重成 委員



坂本貴美雄 副委員長



松沢洋一 委員長

総務課 (0233-29-1360)

創立20周年を記念し製品を寄贈していただきました

新庄中核工業団地内で創業した山形東亜DKK株式会社(代表取締役社長:沖田安生氏)が、本年10月で創立20周年を迎えたことを記念し、11月2日(火)、最上総合支庁に自社製の水質計測器を寄贈いただきました。

寄贈いただいた製品は、「電圧・温度計」、「pH計」、「溶存酸素計」、「酸化還元電位計」の4台です。今後、最上地域の理化学教育や環境教育のために活用させていただきます。

産業経済企画課

(0233-29-1309)



最上の野菜、大きく躍進!

今年は、春先の低温や夏の猛暑など不安定な気象が続きましたが、そんな中でも管内の野菜生産は順調に拡大し、全国的な野菜不足による価格上昇もあって、主要な野菜の販売額は前年を大幅に上回る成果をあげました。主力の「にら」をはじめ、飛躍的に伸びた「ねぎ」や新たな産地として地位を確立した「アスパラガス」は、いずれも最上が県内一の産地となっています。

農業技術普及課

(0233-29-1326)



新たに稼動した JA 新庄もがみのねぎ選果施設

受賞おめでとうございます

鮭川村の津藤次雄氏が(財)大日本農会「緑白綬有功章」を受賞

11月19日(金)、桂宮宜仁親王殿下ご臨席のもと、東京で行われた農事功績者表彰式において、鮭川村の津藤次雄氏が、複合経営による周年農業の実践や農業大学校と連携した人材育成、各種役職における実績などが高く評価され、緑白綬有功章を受賞されました。



津藤次雄氏

新庄市の「産直まゆの郷」が平成22年度山形県ベストアグリ賞を受賞

「産直まゆの郷」を運営するしんじょう産地直売所運営協議会(代表:佐藤悦子氏)が平成22年度山形県ベストアグリ賞を受賞されました。同協議会は、食育、地産地消、食文化の継承、農業後継者の育成などの活動を通じ、平成14年のオープン以来、地域に根ざした農産物直売所として活動を展開しています。



佐藤悦子 代表

平成22年度最上農業賞を2団体が受賞

泉田里いも生産組合(新庄市)と最上町農畜産物直売所管理運営協議会「四季の香」(最上町)が平成22年度最上農業賞を受賞されました。

泉田里いも生産組合は、藩政時代から続く「四ツ屋里芋」を復活させ、泉田里いものこフェスティバルや県内外でのイベント等への参加を通じ、地元を元気付けるための活動を実施しています。今般、「泉田里芋焼酎」の商品開発を行い、話題になっています。

四季の香は、最上町において最初に発足された産直団体であり、新鮮で途切れの無い販売を行うため携帯電話売り上げ情報システムの導入や宅配サービス、セット商品開発、イベント参加など積極的な活動を展開しています。



泉田里いものブランド化に取り組む5名の若手専業農家



最上町の顔として直売活動に取り組む「四季の香」

戸沢村パプリカ栽培研究会がエコエリアやまがた推進コンクールで優秀賞を受賞

環境保全型農業に意欲的に取り組む農業者などを表彰する第5回エコエリアやまがた推進コンクールにおいて、戸沢村パプリカ栽培研究会(会長:松坂雄一氏)が優秀賞を受賞されました。

この研究会の8名全員がエコファーマーの認定を受けており、有機質肥料だけを使い、農薬を減らした栽培を行っています。メンバーには若い農業者が多く、水稻経営の複合品目として今後の普及拡大が大いに期待されています。



松坂雄一 会長

三英クラフトが川村造林記念山形県林業賞を受賞

山形県の林業振興に顕著な功績のあった個人・団体に授与される川村造林記念山形県林業賞を金山町の有限会社三英クラフトが受賞されました。

三英クラフトは、平成14年に三英興業株式会社の林業経営部門として設立され、約2,000haの森林を管理しています。県内で初めてFSC森林認証を取得するなど、環境・社会・経済に配慮した森林経営を行うとともに、地域の森づくり活動にも積極的に参加するなど、地域の林業振興、普及啓発に大きく貢献していることが評価されました。



有限会社三英クラフトの皆さん

日々の活動に感謝いたします ～山形県県土づくり感謝状贈呈式～

公共施設等の利用環境の改善や安全性の向上等に功績のあった民間の団体及び個人(県全体：4団体28個人)に対して、11月29日(月)、吉村知事から感謝状が贈呈されました。最上管内からは、次の方々が感謝状を受けられました。

道路美化部門：昭和自治会(新庄市大字昭和)

河川・海岸等の美化部門：若宮自治会(最上町大字若宮)

道路情報伝達業務部門：甲州義昭氏(戸沢村大字角川)

建設総務課 (0233-29-1391)



左から、若宮自治会、昭和自治会



(左下) 肘折かぶのミルフィユ仕立て
(左上) 最上かぶと地野菜のポトフ仕立て
(右下) メダイのソテーと石名坂かぶのすり流し風
(上中央) 吉田かぶの Pasta
(右上) リンゴと西又かぶのコンポート

最上传承野菜を使った秋の料理講習会

今年度、新庄神室産業高等学校では、学習の一環として最上传承野菜に指定されているかぶ類7品目の栽培に取り組みました。地域に古くから伝わってきた野菜をより深く知ってもらうとともに、新しい可能性に挑戦してもらうため、11月16日(火)に料理講習会を開催しました。

講師にニューグランドホテル新庄の丹野総料理長を迎え、生徒18名が丹精を込めて作った各種のかぶを使って創作料理に挑みました。メニューは丹野総料理長の考案による5品で、お手本を見ながらみんなで調理し試食を行いました。産業経済企画課 (0233-29-1307)

災害から入所者を守ろう!

「社会福祉施設危機管理研修会」を開催しました

10月28日(木)、新庄市民プラザ小ホールで、保育所や高齢者、障がい者等施設の危機管理向上を目的とした研修会を開催しました。

各施設の職員の皆さんなど約60名が参加し、講師の新潟大学危機管理室 田村圭子教授から、新潟県中越地震の被災事例をもとにお話いただき、職員の参集や連絡体制について事前に取り決めしておくことや、周辺地域と協力し合える関係を日ごろから築いておくことの大切さなどを学びました。



子ども家庭支援課
(0233-29-1200)

もがみ子育て支援ネットワーク連絡協議会 「10月講演会&11月コンサート」

10月23日(土)、最上町中央公民館で、NPO 法人全国父子家庭支援連絡会の片山知行氏をお招きし、「パススイッチON」と題した講演会を開催し、父親の育児参加の現状とパートナーとのコミュニケーションの大切さなどを学びました。

また、11月21日(日)、新庄市民プラザで、NHKの「おかあさんといっしょ 宅配便」などで活躍中の山岡ゆうこおねえさんをお迎えし、「親子ふれあいコンサート」を開催しました。参加した親子はたくさんの参加者と一緒に歌や音楽に合わせて体を動かし、心も体もぽかぽかの楽しい時間を過ごしました。

子ども家庭支援課
(0233-29-1361)



山岡ゆうこおねえさん

主要地方道真室川鮭川線(八敷代橋)が開通

真室川町大字釜淵地内において、11月26日(金)午前11時に、八敷代橋(橋長117m)の開通式典が行われました。神事のあと、テープカットに続き、地区住民及び町・県・工事関係者による渡り初めが行われ、12時15分に一般に開放されました。

八敷代橋架け替え工事は、八敷代バイパスの2期区間で、平成16年の着工から7年を経て、この度無事開通することができました。

道路計画課 (0233-29-1401)



みんなでお宝探し 真室川町木ノ下地区

11月23日(火)、地域の住人総勢64名が参加し、元気な地域づくり勉強会(ワークショップ)を開催しました。地域のお宝探しや、それを基にした資源マップ作りと発表を行う中で、世代を超えて地域の方々が一体となって自分達が暮らす地域の良さをあらためて見つめ直す機会となりました。次回は地域を元気にするアイデアの具体化に取り組む予定です。

農村計画課
(0233-29-1340)



森の感謝祭「清流小国川を育む森林づくり」を開催しました!

10月30日(土)、豊かで美しい森林を未来に引き継ぐ「県民参加の森づくり」を推進するため、舟形町長沢の若あゆ温泉「あゆっこ村」において、約200名が参加し、平成22年度最上地域森の感謝祭「清流小国川を育む森林づくり」を開催しました。

式典では、永年林業の担い手の育成や森林整備の推進に取り組んでこられた舟形町の松井永一氏が「最上地域森林・林業功労者」として表彰を受けられました。オオヤマザクラの記念植樹に続き、緑の少年団員や一般の参加者がナラ枯れで風や日射を遮るものがなくなってしまったキャンプ場にケヤキを植栽したり、木製のプランターや巣箱を作製し、さわやかな汗を流しました。合間にはチェーンソーアートも披露され、出来上がった作品のすばらしさにみんな感激していました。

森林整備課 (0233-29-1348)



緊急登庁訓練を実施しました

10月28日(木)、管内を震源とする直下型地震が発生したとの想定で、最上総合支庁の災害対策本部関係職員を対象に緊急登庁訓練を実施しました。

当日の朝6時30分、緊急連絡網により職員の招集を開始し、連絡を受けた職員から順次登庁して支部設営作業を行いました。日時等をあらかじめ知らせない訓練でしたが、遠距離通勤の職員を除いておおむね7時40分までに登庁し、防災通信機器等の設営作業を完了することができました。

今後とも定期的に訓練を重ね、災害時の初動体制の確保、職員の危機管理意識の向上に努めていきます。

総務課

(0233-29-1209)



お知らせ



全国学生クリスマス献血キャンペーン2010

冬季における血液不足を補うため、学生ボランティアによる、クリスマス献血キャンペーンが行われます。献血へのご協力が、尊い命を未来につなげる素敵なクリスマスプレゼントになります。皆様のご協力をお待ちしております。

■日時 12月19日(日)

10:00~11:30、13:00~15:30

■場所 マックスバリュー新庄店

保健企画課 (0233-29-1258)



インフルエンザの感染 予防を心がけましょう

インフルエンザの症状の特徴は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状で、のどの痛み、鼻汁、咳などもみられます。

《予防方法》

- こまめな手洗い(基本)
- 帰宅時などのうがい
- 有症状時や人混みでのマスク着用
- 体調管理(十分な栄養・休養・睡眠)
- 人混みを避ける(特に流行時)
- インフルエンザ予防接種を受ける
- ◆日頃から予防には十分注意し、症状のあるときは早めに受診しましょう。

地域保健福祉課
(0233-29-1268)

第9回バイオマスフォーラム

■日時 12月11日(土) 13:30~

■会場 新庄市民プラザ 小ホール

■内容 最上地域の林業とバイオマスの可能性
「環境も経済も回る森林・林業再生プラン」

1) 基調講演

テーマ: 新成長戦略「森林・林業再生プラン」

内閣官房国家戦略室内閣審議官 梶山恵司 氏

2) パネルディスカッション

テーマ: 最上地域の林業とバイオマスの可能性

東北芸術工科大学 准教授 三浦秀一 氏 ほか4名

■料金 無料(事前申込必要。締切12月8日まで)

■申込先 NPOバイオマスものがみ会 TEL 0233-22-8609

最上総合支庁産業経済企画課 TEL 0233-29-1307

発行日: 平成22年12月1日

発行元: 山形県最上総合支庁総務課総務係
(0233-29-1360 Fax 0233-23-2605)